

事務事業名 健康診査事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	009	事業開始年度 昭和 57 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民を対象とした健康診査の実施により、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	40歳以上の市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績】H23年度実績 ・胃がん検診 受診数 650人 ・大腸がん検診 受診数 1,883人 ・肺がん検診 受診数 1,923人 ・乳がん検診 受診数 1,105人 ・子宮頸がん検診 受診数 1,188人 ・前立腺がん検診 受診数 1,072人 ・肝炎ウイルス検査 受診数 994人 ・歯周疾患検診 受診数 5人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市民の健康の保持増進のため、通年で各種検診の受診勧奨、個人通知等実施して受診促進を図り受診数の増加を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	健康増進法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称 がん検診推進事業費補助金	千円	3,697	5,624	5,110	5,110	5,110
道支出金	名称 健康増進事業費補助金	千円	536	3,046	3,472	3,472	3,472
地方債	名称	千円					
その他	名称 健康診査受診者負担金・北海道後高齢者医療広域連合健やか推進事業補助金	千円	6,238	5,032	5,042	5,042	5,042
一般財源	名称	千円	27,710	28,740	30,155	30,155	30,155
事業費合計			38,181	42,442	43,779	43,779	43,779

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	大腸がん検診受診数	人	目標値	1,590	1,550	1,720	1,720	1,720
			実績値	1,161	1,883			
	肺がん検診受診数	人	目標値	2,700	2,295	2,150	2,150	2,150
			実績値	2,095	1,923			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
各種検診の受診数が伸びない。	各がん検診 特定年齢者への無料クーポン券発行 受診勧奨のための個人通知 肝炎ウイルス検査 特定年齢者へのクーポン券による受診通知 歯周疾患検診 対象年齢者への個人通知	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 健康増進法により、市が取り組む事業として位置づけられているが、各種検診の受診促進のため、関係する団体等との連携により受診率の向上の可能性があると 思われる。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民の健康づくりのため、疾病の早期発見・早期治療して健康の保持増進に寄与するよう各種検診を実施することは必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 必要最低限の経費で実施しており、効率性は高いと思われる。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 検診から疾病が発見され、早期に治療に結びつく人がいることから成果は見られる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	国が推進するがん対策に基づいて、検診受診率向上のため、女性のがん検診(子宮頸がん・乳がん)・大腸がん検診について継続して受診促進を図る。また、肝炎対策についても個別受診勧奨を継続実施し、受診促進を図る。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----